

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 6月27日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 常滑市金山字大屋敷15番地の2	
氏名 株式会社 水野組	
代表取締役 三輪 一馬	
電話番号 0569-42-0177	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 水野組
事業場の所在地	常滑市金山字大屋敷15番地の2
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高：121045万円
③ 従業員数	36名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事：がれき類→中間処理業者に委託。再生砕石として再資源化。 汚泥→中間処理業者に委託。脱水処理後選別し洗い砂として再資源化、残りを埋立処分。 道路改良工事：がれき類→中間処理業者に委託。 選別後再生砕石として再資源化。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>管理部管理課長 (産業廃棄物処理統括責任者)</p> <p>↓</p> <p>総務部 (産業廃棄物管理担当)</p> <p>↓</p> <p>工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者)</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙のとおり			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類、混合物はそれぞれ分別して 保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	予定なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	予定なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	予定なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第2面 別紙）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 その他	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず	混合物 管理型	混合物 (水銀使用製品)	汚泥	合計
	排出量	1412t	936t	530t	4t	17t	10t	63t	1t	242t	3215t
	(これまでに実施した取組) ・発注者やメーカーと事前の調整を行い発生量の削減に努めている ・現場での選別をすることで減量に努めている										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 その他	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず	混合物 管理型	混合物 (水銀使用製品)	汚泥	合計
	排出量	1271t	842t	477t	4t	15t	9t	56t	1t	218t	2893t
	(今後実施する予定の取組) ・発注者やメーカーと事前の調整を行い今まで以上に発生量の削減に取り組む ・現場での選別を更に進めることにより減量に努める										

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第4面 別紙）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 その他	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず	混合物 管理型	混合物 (水銀使用製品)	汚泥	合計
	全処理委託量	1412t	936t	530t	4t	17t	10t	63t	1t	242t	3215t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0t	0t	530t	1t	17t	10t	49t	0t	220t	826t
	再生利用業者 への処理委託量	1412t	936t	530t	4t	17t	10t	13t	1t	170t	3093t
	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
(これまでに実施した取組) ・再生処理業者へ委託することで再資源化している ・昨年より優良認定業者への委託量を増やすことができた。 ・選別を徹底してもらう事により減量化に努めている											

【目標】		産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 その他	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず	混合物 管理型	混合物 (水銀使用製品)	汚泥	合計
		全処理委託量	1271t	842t	477t	4t	15t	9t	56t	1t	218t	2893t
優良認定処理業者 への処理委託量	0t	0t	477t	1t	15t	9t	44t	0t	198t	743t		
再生利用業者 への処理委託量	1271t	842t	0t	3t	0t	0t	13t	1t	20t	2150t		
認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t		
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t		
(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者へ委託するようになっていきたい。 ・近隣にがれき類の優良認定業者の認定を受けている所がないのが現状だが、今後認定を受けた業者があれば積極的に利用したい												
※事務処理欄												